

# 内外海地区長期計画

住みよい内外海をめざして



平成16年3月策定

内 外 海 地 区  
内外海ふるさとづくり委員会

## 内外海ふるさとづくり計画書の作成にあたり

小浜市の「新世紀いきいきまち、むらづくり支援事業」を受けて、平成13年12月に内外海地区区長会から「内外海ふるさとづくり委員」に他の35名ならびに参与の方と共に任命されてから今日まで2年余りの歳月をかけて、内外海ふるさとづくりビジョン策定の主旨にのっとり、委員や参与の方を中心として、各地域や関係各位のご協力をいただきながらアンケート、学習会、検討会の実施、あるいは先進地の視察など活動を重ねてまいりました。

皆様ご承知のとおり、私たちを取り巻く情勢は国の内外を問わず非常に厳しいものがあり、小浜市をとらまえて見ても例外ではございません。長引く不景気、地方自治体財政も苦しい台所事情であり、難しい行政施策を強いられています。

観光（民宿、釣り船他）と兼業農、漁家が産業の主体をなしている内外海地域においては、民宿における滞在客の減少、顧客ニーズ、アウトドアー娯楽の変化と多様化、農漁業においては大規模化や競争の激化、漁獲の減少と後継者不足などなど容易に対処できないことばかりです。また、当地域は内外海半島を中心に14の集落が点在しており、道路、港湾、上下水道、農地の整備など、それぞれに思いが異なる事も少なくはなく、集落単位あるいは団体毎で取り組むべきこと、あるいは既に取り組まれていることなど、いろいろありますが、それはそれとしまして、このすばらしい自然環境と数多い歴史文化資産や伝承料理を活かしつつ、新しい物を求めながら調和のとれた全体としての内

外海のあるべきすがたを、住民自らが行うことと、行政に委ねなければならないことを合わせ、中長期の計画として本提言書を作成をさせていただきました。

限られた諸条件の中での作業であり、まだまだ完全なものではございません。いずれにいたしまして、もこれからの活動が重要であり肝心であると思います。老若男女が将来、平和で希望に満ちた住みよい内外海のまち、むらづくりの糧の一助となれば幸いに存じます。

そのことを念じながら、末筆になりましたが内外海地域の皆様の益々のご健勝と当提言書の作成にご指導、ご協力いただきました皆様に心から厚く御礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成16年3月  
「内外海ふるさとづくり委員会」

委員長 瀬戸 清太郎

## 答申を受けて

若狭路に春を告げる鶉の瀬の「お水送り」も終わり、春が一段と近くなってまいりましたが、内外海地区民の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと心からお慶びを申し上げます。

さて、平成13年度に小浜市のいきいきまち・むらづくり支援事業を受けて、ふるさとづくり委員会を発足させ、内外海の将来像を考えた長期の振興計画の策定を諮問してまいりましたが、この度、委員会から21世紀を展望した内外海地区の長期計画の答申書をいただきました。

毎年、区長会では内外海のいろんな課題や問題点をまとめて市へ要望をしていますが、内外海のみならず、他地区の区長会も任期内の行事を消化するのが精一杯で、地区の将来像を展望する余裕などないのが実情です。

村上市長より、市民一人ひとりがまちづくりの一翼を担い、それぞれの地域の特性を生かした、まち・むらづくりを行い「自らが考え、参加する」という市民の自主性を醸成しつつ、市全域の活性化を図ろうとする考え方が示されました。

これを受け、内外海地区においても、13年度区長会から年代別に委嘱を受けていただいた36名の方々に「内外海ふるさとづくり委員会」を立ち上げ、この地域に住む住民自らが知恵を出し、自らの将来像を描くため、今日まで数十回にわたる検討会や視察、更にはアンケート調査で住民の意見を吸い上げるなどして答申書をまとめていただきました。

答申書に目を通しますと、2年半もの長期間、地区行政のハード・ソフト全般にわたり検討が加えられていて、我々がもっとも必要としていたものが網羅されています。

区長会としては、この長期計画を指針として、地区の各種団体とともに、このすばらしい内外海の自然環境や豊富な食材を生かし、地区住民が“内外海に住んでよかった”と云えるふるさとづくりに向かって地区行政を推進して参る所存です。

最後になりましたが、瀬戸委員長をはじめとする各委員の皆様方に、この2年半のご労苦に対し、感謝と敬意の誠を捧げますとともに、今後とも計画の実践にあたり、ご指導をいただきますようお願い申し上げます、お礼のご挨拶といたします。

平成16年3月

内外海地区区長会長 大野治郎

# 《目 次》

長期計画の策定にあたって  
長期計画の答申を受けて

<b>1. やすらぎの創設</b> .....	1
目 標 生活基盤を整備し、住みよい内外海をめざして .....	1
(1) 内外海交流センターの建設 .....	1
(2) 交通網の整備 .....	2
(3) 環境の整備 .....	3
(4) 漁港の整備 .....	4
(5) 風力発電施設の建設 .....	4
<b>2. 活力ある観光と産業の振興</b> .....	5
目 標 豊かな自然を生かした観光資源の再整備、民宿や 地場産業の振興をめざして .....	5
(1) 久須夜ヶ岳の開発(エンゼルラインの活用) .....	5
(2) 内外海に適した「体験・滞在型観光」の促進 .....	5
(3) 海辺や山里の散策道整備 .....	6
(4) 食をテーマにした特産品の伝承と研究 .....	7
(5) 宣伝活動の充実 .....	8
<b>3. 健康と福祉づくりの推進</b> .....	9
目 標 生きがいのある生活をめざして .....	9
(1) 少子高齢化対策 .....	9
(2) ボランティアの推進 .....	9
(3) 健康(食生活)づくり .....	10
(4) 医療体制の充実 .....	11
<b>4. 自然環境の保全</b> .....	12
目 標 恵まれた海・野・山とのふれあいの形成をめざして .....	12
(1) 豊かな自然の中で .....	12
(2) 快適な環境づくり .....	13
<b>5. 人とひとの交流</b> .....	14
目 標 心豊かな「うちとみ」づくりをめざして .....	14
(1) 村おこし活動の推進 .....	14
(2) 生涯学習の推進 .....	15
(3) 学校教育の充実を求めて .....	16
(4) 家庭教育の充実を求めて .....	16
(5) ふるさと再発見! .....	17
長期計画策定経過 .....	18
内外海ふるさとづくり委員会委員名簿 .....	19

# やすらぎの創設

《目 標》 生活基盤を整備し、住みよい内外海をめざして

## 1. 内外海交流センターの建設

内外海地区は、すべての集落が海に面し、海・里・山の幸が豊かで、継承すべき郷土料理が数多くあります。また、地区の特殊性として観光（民宿）が生計を支えていることから、土曜日や日曜日の活動が難しく、児童センターと併設している現在の公民館では、地区住民が日中に集える機会の確保が困難です。

地区民多数が生涯学習や研修を行い、先人達が残してくれた知恵を伝承し、より発展させて、さらに伝統文化の伝承や交流が深められる交流センターの建設に取り組みます。

### ① 漁村文化伝承館の要素を併せもつ施設

- 「食を中心としたまちづくり」の中、食材の豊かな内外海地区で獲れた魚介類を使った郷土料理の研修



子ども会主催の親子料理教室

- 観光客に楽しさ・いやし・嬉を味わってもらえる「もてなしの心」の研修
- 地区民と都会の人が親しみ、交流ができる施設

② 社会文化学習・軽スポーツが楽しめる施設

- 内外海地区に伝わるまつり・行事・文化を展示
- 地区住民の誰もが学習や交流ができる施設



公民館の学級活動（絵画教室）



矢代区 手杵祭

- 地区住民の健康維持、増進を図る軽スポーツができる施設



ソフトバレーボール大会

2. 交通網の整備

広範な内外海地区は、道路の整備が生活や産業の振興にとって最も重要です。道路の整備を推進し、住みよい内外海をめざします。

- ① 国道162号線の早期完成
  - 矢代～田烏間の整備
- ② 県道泊・小浜停車場線の改良
  - 阿納尻地係の内海に面した道路の防波堤と歩道の設置（阿納尻三叉路～高屋間）
- ③ 阿納尻～加尾・西小川・宇久間のトンネルの開削
- ④ 他地区と結ぶルートへの整備
  - 志積～宮川間のトンネル開削
  - 阿納尻～奈胡間のトンネル開削



矢代トンネルより掘削予定地を望む



市道 加尾～西小川地係

### 3. 環境の整備

環境の整備を図ることにより、豊かで安全なふるさとづくりをめざします。

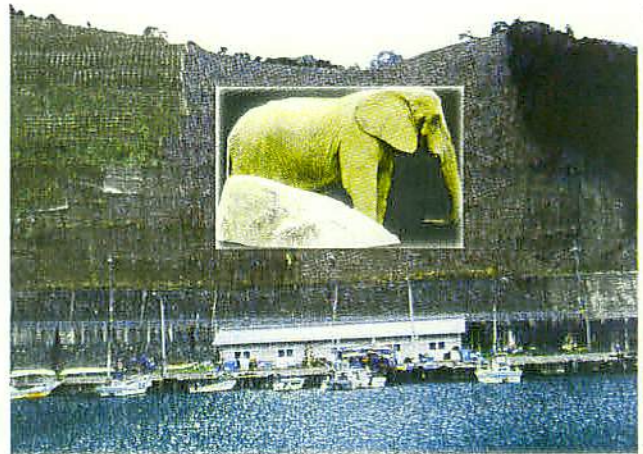
- ① 防犯灯の設置
- ② 桜等の植樹
  - 国道162号沿線
  - エンゼルライン
  - 県道泊・小浜停車場線沿線
  - 集落間の市道沿線ほか



③ 道路の山肌の壁に内外海にまつわる壁画を描く

- 内外海小学校前の側壁
- 犬熊の山肌

壁画イメージ  
(犬熊漁港)



4. 漁港の整備

各集落の漁港は、地区民の生活を支える基幹産業の重要な施設であり、常に安全で効率の良い施設の整備を図ります。

- 各集落の未整備部分の早期完成

5. 風力発電施設の建設

クリーンエネルギーとして、脚光を浴びている風力発電施設をエンゼルラインの頂上久須夜ヶ岳に建設し、エコ対策に取り組むとともに小浜市の観光スポットとして誘致します。

エンゼルライン一体の整備に併せ、風力発電から出力される電力で夜間にイルミネーションを久須夜ヶ岳に点灯して内外海のイメージアップを図るとともに小浜市の観光施設のシンボルとして利用します。



久須夜ヶ岳の風力発電施設 (イメージ)



# 活力ある観光と産業の振興

《目標》 豊かな自然を生かした観光資源の再整備、民宿や地場産業の振興をめざして

## 1. 久須夜ヶ岳の開発（エンゼルラインの活用）

内外海のシンボルである久須夜ヶ岳とエンゼルラインを貴重な観光資源ととらえ、景観と施設の拡大整備につとめ、より魅力ある観光地をめざします。

- ① 展望箇所の確保と整備 定期的な雑草・立木の管理 案内板・安全施設の拡充
- ② 蘇洞門、松ヶ崎、小山への遊歩道の活用 施設整備・安全管理など
- ③ 四季の花ロード 標高差による開花時期や、草花の特性を活かした植栽
- ④ イベントの開催 昼間の高原コンサート・夜間の星空、釣り火鑑賞会などの開催
- ⑤ 伝説・民話の活用 山岳信仰にまつわる伝説や民話の伝承・広報活動などの取組み
- ⑥ 広域基幹林道との連携 近畿遊歩道としても整備されている林道と相乗効果を図ります。
- ⑦ 風力発電施設の誘致 環境・観光の両立と新エネルギー研究施設の誘致について研究推進を図ります。



エンゼルライン頂上からの東側眺望



大神岩

## 2. 内外海に適した「体験・滞在型観光」の促進

交流人口が若干の回復傾向にあり、都市部とのアクセスが良くなる一方で、宿泊人口の減少が見られます。産業基盤整備に努め、私たちの住む内外海のすばらしさをPRし、リピーターの増加を図るとともに、「体験農業・体験漁業・滞在型観光」を推進します。

- ① 体験漁業 地引き網・刺し網・わかめ採り・干物作りなどの漁労体験
- ② 体験農業 棚田を活用した稲作り・梅、柿畑を利用した果樹園・芋掘り体験など
- ③ 漁業・農業のオーナー制 養殖魚貝・わかめ、柿・梅の木、棚田などにオーナーを募集

- ④ 他の観光地・物産との連携 蘇洞門巡り・若狭塗り・国宝めぐりなどの主産業とのタイアップ
- ⑤ 人材の育成 各体験やオーナーを支えるインストラクター・他の地域や産業とのタイアップをスムーズにするコーディネーターなどの育成



釣りまつり



大敷き網

### 3. 海辺や山里の散策道の整備

豊かな自然を楽しむには、歩いて、からだで直接触れることが一番効果的です。そのために、散策道等の整備拡充に取り組みます。



西小川区 はまいそ遊歩道

- ① 山道や既存の遊歩道の整備
- ② 林道から各地区への遊歩道の整備
- ③ イベントの企画 例として、ツーデーマーチ・健康ウォークなど・・・



基幹林道の清掃奉仕



基幹林道展望台にて

#### 4. 食をテーマにした特産品の伝承と研究

「なれ鯖」や「にしん寿司」などの伝統のある食品を将来にのこし、産業として発展させます。

また、地域住民を対象とした勉強会を開催し、地場産品の付加価値を向上させた新しい特産品の開発に取り組みます。

- ① 伝統料理の講習会      へしこ・なれ鯖・にしん寿司などの製法を若い人に伝承。
- ② 新特産品勉強会        安価な地場産原料を利用した、付加価値の高い二次食品の開発。



小学校児童の「へしこ」作り体験学習



子ども会の地引網体験

## 5. 宣伝活動の充実

内外海の豊富な観光資源を住民が再認識するとともに、各個人が外部へ強力な広報活動ができるよう案内施設・案内グッズの充実を図り、知名度をアップして流入人口の増加を図ります。

- ① 詩や短歌などのコンクール 「沖の石」に代表される短歌などのコンクールを開催します。
- ② 写真コンクール 内外海の風景・伝統行事を素材にした写真コンクールを開催します。
- ③ ロゴマークの作成と活用 広い内外海地域に統一感を持たせるロゴを作成、特産品などへの活用を図ります。
- ④ 大看板の設置 地域の入り口（甲ヶ崎・田烏）にゲート、案内大看板を設置します。
- ⑤ 小看板の設置 大看板とリンクした小看板を各地に設置し、名所・伝統行事を案内します。
- ⑥ 観光マップ、ステッカーの作成 民宿などで、マップ・ステッカーを配布し、知名度アップ、リピーターの増加を図ります。
- ⑦ ホームページ（HP）の作成 公民館にサーバーを設置し地域のHPを作成し、住民がサーバーを利用して、地区の情報、事業者の情報を発信できるようにします。また、散在している地域内事業者のHPのリンク集を作成して、知名度アップと相乗効果を図ります。



案内看板(イメージ)



甲ヶ崎区 象つなぎ石



泊区 カ石



ロゴマーク(イメージ)

# 健康と福祉づくりの推進

《目標》 生きがいのある生活をめざして

## 1. 少子高齢化対策

世界でも例のないスピードで高齢化社会を迎え、当地区も高齢化率（65歳以上の人口比率）が25%を超えています。お年寄りが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。

- ① 地域に根ざした生きがいづくり
- ② 地域の福祉施設との連携
- ③ 地域間移動手段の確保  
誰もがどこでも乗れるあいあいバスの利用方法  
（西小川・加尾・宇久方面へのあいあいバス運行）
- ④ 高齢者の社会参加 世代間交流やボランティア活動等社会参加  
ともに支えあう地域づくりの推進
- ⑤ 介護サービスの充実（グループホームの推進）
- ⑥ 少子化対策 安心して子育てができる環境づくり



内外海小学校校下



《敬老会》

田烏小学校校下

## 2. ボランティアの推進

核家族や高齢化の進展により、社会構造等のひずみが生じ、従来の家庭や地域が持っていた連帯意識が薄れかけた今日こそ、市民一人一人がノーマライゼーションの理念に立って、ともに支えあう地域づくりに取り組みます。

- ① 福祉ボランティア マリンの活用
- ② 世代間交流（お年寄りとこどものふれあいの場づくり）
- ③ 地域福祉活動との連携 内外海地域健康福祉づくり推進協議会等
- ④ 広報・啓発活動



老人会の草刈ボランティア

### 3. 健康（食生活）づくり

「自分の健康は自分でつくる」の基本に基づき「栄養・運動・休養」を考え、健康意識の高揚に努め、健康管理の推進を図ります。

- ① 長寿社会への対応
- ② 健康の村づくり
- ③ 健康な食生活の改善
- ④ うちとみの保存食のパンフレットづくり、ふるさと料理の紹介
- ⑤ 温泉の掘削 （健康ランドの誘致）
- ⑥ 健康体操の普及
- ⑦ 健康ウォークの推進 （こどもからお年寄りまで参加できるように）
- ⑧ スポーツ・レクリエーションの推進
- ⑨ 健康教室、相談の充実



ふるさと料理の紹介  
（ふるさと祭り会場にて）



韓国船遭難救護の碑前にて



老人クラブのゲートボール大会



老人クラブによるグラウンドの草むしり

#### 4. 医療体制の充実

受診しやすい環境を整え、予防から発見・リハビリテーションまでの包括的な保健活動の大切さを知り、充実を図ります。

- ① 地域福祉施設との連携
- ② 福祉施設の誘致
- ③ 地域健康福祉づくりの推進
- ④ 地域へき地医療の充実（巡回型医療の創出）

幼児による若狭ハイツ慰問



検診車による移動検診  
（児童センター）

# 自然環境の保全

《目標》 恵まれた海・野・山とのふれあいの形成をめざして

## 1. 豊かな自然の中で

若狭湾国定公園の中心部に位置し、天下の名勝「蘇洞門」をはじめとして、リアス式海岸や内海、外海がおりなす対照的なイメージなど、優れた自然環境を有する内外海半島に生まれ育まれてきた歴史、文化遺産や景観を守り、快適な自然環境の保全を図ります。

### ① 棚田の保全・梅園の保全



田烏区 棚田

- ② 快適な環境の創出 風力発電クリーンエネルギーの創出  
地球温暖化対策
- ③ 季節感あふれる自然の創出  
蛍の里構想  
美しい景観の保全  
遊歩道の建設と砲台場の整備  
ふるさとの自然や歴史・文化の開発  
青空の街・なぎさの浜
- ④ 地区にふさわしい木・花のある地域づくり  
オーナー制で植樹      ○○記念で



蘇洞門





堅海区 隠し田

## 2. 快適な環境づくり

人と自然との共存を図り、調和の取れた開発を図るとともに、上下水道やゴミなど日常生活に不可欠な環境の向上をめざし、ユニバーサル社会の実現を図ります。

- |           |   |
|-----------|---|
| ① ゴミ対策    | 看板等・モラルの向上<br>エンゼルラインに監視カメラの設置<br>生ゴミの利用方法研究<br>ボランティア団体の育成<br>環境美化・リサイクル、リユースの促進 |
| ② 上水道の誘致  | 若狭、仏谷、堅海、泊地区 他  |
| ③ 集落排水の整備 | 阿納尻、若狭地区  |



仏谷区  
不燃物処分場

# 人とひとの交流

《目標》 心豊かな「うちとみ」づくりをめざして

足元からふるさつを見直し、子どもからお年寄りまでがいいきと生活する、心豊かで活力あふれる「内外海」をめざします。

## 1. 村おこし活動の推進

各集落で、実践に向けた活動を展開します。

### ① 組織の再生と活性化

- ・村おこし活動を委員会のような形で実践します。
- ・区内にある旅行会や野球チーム、青年会などの既存の団体の活性化

### ② 活動内容

- ・伝統行事や技術の継承、発展
- ・歴史の再発見や文化遺産の発掘
- ・区独自のイベント企画・運営
- ・生活改善運動
- ・行政区の見直し



泊区 韓国船遭難救護の碑



若狭区 椎村神社の「王の舞」

## 2. 生涯学習の推進

各集落の集会所、公会堂、お寺などを利用し、まずは《集う》ことから第一歩を開始します。

### ① 社会教育諸団体の組織と活動内容の見直し

#### ○ 婦人層

なかよしグループ活動（子育て・趣味・教育相談・ボランティア活動）の推進

#### 【活動例】

- \* 「地区外の友達をも取り込んだ  
堅海児童センターでの「パッチワーク  
サークル」の取り組み」
- \* 「舞踊の会」
- \* 「コーラスの会」



サークル活動

#### ○ 高齢者層

定期的集い、茶話会などの開催

- ・ 子ども会活動との連携
- ・ 若年層を中心にしたボランティア活動

#### 【活動例】

- ・ 「短歌を詠む会」
- ・ 「集会所のペンキ塗り・除草・剪定」

#### ○ 子ども会

定期的な学習会の開催

- ・ 子ども自身が計画・運営する行事
- ・ 他団体との提携活動
- ・ 活動の精選と絞り込み
- ・ 育成会のあり方再検討



百人一首の練習

#### 【活動例】

- ・ 「カルタの自主練習会」

### ② 青少年の活動参加促進

活力ある「ふるさとづくり」を推進するためには、青少年の情熱や行動力が不可欠です。

- ・ 各集落の「仮称；青年会」組織化
- ・ 現存する青年団の組織強化
- ・ 中高生に役割を与え、各種行事に青少年の参加促進

### ③ 文化・体育活動の活性化

#### ○ 公民館祭りの内容の検討

- ・ 内外海地区内に潜在する趣味や特技の持ち主を発掘し、より多彩な発表に努めます。

- ・ 行事の核として、海と食にまつわるイベントの開催を研究します。
- ・ 地区内の各種サークルや中高校生の活動の紹介や発表
- ・ 区民総参加のコンクールや豪華景品の当たる大抽選会
- ・ 区対抗のコンクール

○ 体育協会主催行事の支援体制強化

- ・ 各種行事における事前、事後の広報活動の徹底
- ・ 区の支援を受けて支部活動を強化します。
- ・ レクレーション行事の検討



内外海地区体育祭

### 3. 学校教育の充実を求めて

① 小学校の統合問題についての研究

児童数が年々減少し、少人数教育の利点を生かした有効な学習活動が展開されている反面、「集団活動の充実」や「よりよい競争原理の活用」などの学習に支障の出ることが懸念されています。近い将来、国道162号線全面改良や市町村合併が想定されることから、内外海地区内の小学校のあり方を研究します。

② 「海と食」をキーワードにした、内外海地区の特色を生かした学習の推進

プロジェクト学習、農水省の「食」のボランティア派遣制度、体験学習、交流活動等を通して、地域の特色を生かした学習活動の実践を要望します。



田烏小学校



《ふるさと学習》

内外海小学校

### 4. 家庭教育の充実を求めて

① 家庭教育の見直し運動を展開します。

- ・ 学校教育と連携を取りながら、内外海の生活実態を考察し、家業の手伝いや家庭学習のあり方について、子供会・集落PTA等の活動を主軸に取り組みます。

② 集落PTA活動の見直し

- ・ 地域の子どもたちは、その地域が育てるという「地域教育力の復活」を模索します。

- ③ 男女共同参画の精神を、家庭内から推進します。
  - ・家庭内で親が模範を示し、子どもの生きた教材となります。
- ④ 優良な家庭教育実践例を広報します。
- ⑤ 家庭教育の指標を作成し全戸に配付します。



青年団による清掃奉仕



婦人会のバザー準備

## 5. ふるさと再発見！

- ① ふるさと「内外海」を知ろう
  - ・「内外海マップ」作りに取り組みます。(寺社・祭り・花木・施設・人物・景観・民話など)
  - ・マップ作りと並行して、見学会や歩け歩け運動を展開して地区内を探訪し、ふるさとを知る運動を展開します。
- ② 郷土料理教室の開講
  - ・内外海の食材を使った料理教室を定期的を開講します。
  - ・料理教室定着後は「料理コンテスト」を開催し、「味」の伝承「技」の保存に努めます。
- ③ ボランティア組織の確立
  - ・「ふるさと」のあらゆる分野の人材を発掘し、ボランティア登録制度の確立をめざします。
  - ・ボランティア登録制度を基に多彩な学習活動を展開します。

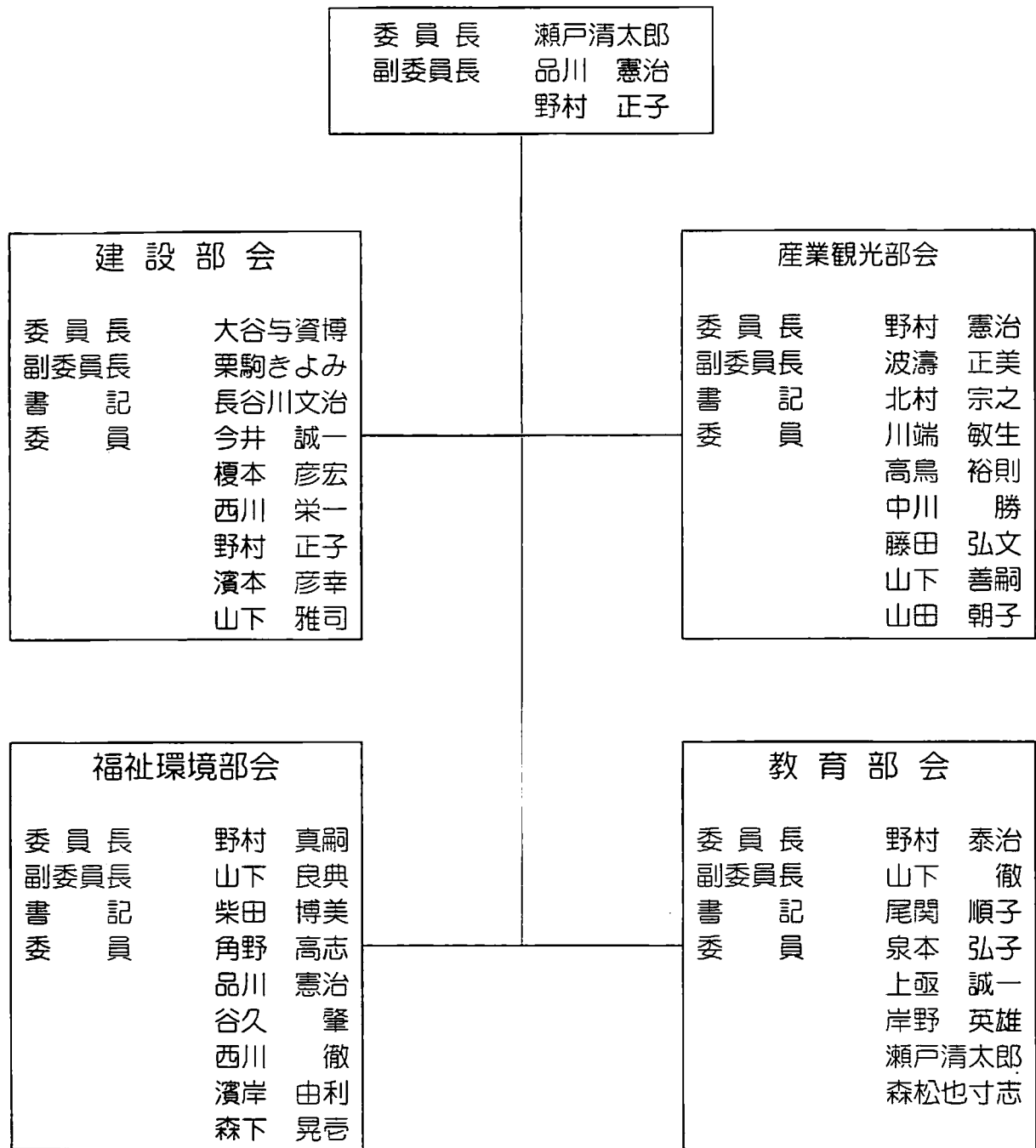


内外海地区長期計画策定経過

平成 13 年 4 月	地区区長会で取り組み方法を検討
平成 13 年 6 月 8 日	地区区長会において、小浜市担当部次長から説明を受け、具体的な組織作りを検討
平成 13 年 7 月 6 日	地区区長会内に組織の素案づくりの委員会を設ける。 委員：区長会6名・市議会議員・公民館長
平成 13 年 7 月 26 日	素案づくり委員会の開催
平成 13 年 8 月 3 日	区長会で組織を「内外海ふるさとづくり委員会」と命名し、組織の設置要項を決定する。委員選出を各区長に要請
平成 13 年 10 月 17 日	「内外海ふるさとづくり委員会」委員及び顧問・参与を決定
平成 13 年 11 月 30 日	「内外海ふるさとづくり委員会」の委員及び顧問・参与の委嘱
平成 13 年 12 月 12 日	第1回ふるさとづくり委員会 委員長・副委員長選出
平成 14 年 1 月 21 日	第2回ふるさとづくり委員会 専門部正副部会長・書記の選出
平成 14 年 2 月 22 日	委員勉強会 講師 若狭歴史民俗資料館長 中島辰男氏
平成 14 年 4 月 9 日	第2回委員勉強会 講師 市議会議員 濱岸利一氏
平成 14 年 5 月 22 日	正副委員長・専門部会長・13.14 年区長会長・市議会議員による役員会
平成 14 年 6 月 21 日	総合部会 住民アンケート調査内容の検討
平成 14 年 7 月 25 日	第3回ふるさとづくり委員会 住民アンケート調査内容の決定と調査月紙の配布
平成 14 年 8 月 20 日	住民アンケート調査取りまとめ 集計作業に入る
平成 14 年 9 月 20 日	市長と内外海のふるさとづくりについて懇談
平成 14 年 11 月 26 日	総合部会 先進地視察と今後の進め方について
平成 14 年 12 月 15 日	先進地視察【風力発電：丹後伊根町】 積雪のため中止
平成 15 年 2 月 14 日	総合部会 中間報告書の決定と先進地視察について
平成 15 年 3 月 5 日	区長会へ中間報告
平成 15 年 3 月 9 日	先進地視察 三重県久居市 風力発電を生かしたまちづくりの研修
平成 15 年 3 月 17 日	第4回ふるさとづくり委員会 中間報告書の説明
平成 15 年 6 月 18 日	正副委員長・専門部会長会議 最終報告書の取りまとめ方法について
平成 15 年 9 月 11 日	総合部会 各部会の取りまとめ内容の報告と調整
平成 16 年 1 月 22 日	最終報告書の調整
平成 16 年 2 月 4 日	区長会へ最終答申
平成 16 年 3 月	「内外海地区長期計画」小冊子発行

上記のほか、各専門部会を26回開催

内外海ふるさとづくり委員会名簿 (順不同)



顧問 上野 精一 濱岸 利一

参与 藤田 正久 濱本 輝男 大野 肇  
 下亟 忠彦 山下 雅司 野村 真嗣 山田 憲治  
 大野 治郎 岡 利昌 田橋 長和 田中 恒光  
 北村 宗治 才場 芳久



夏の晩涼は、海と工場ラインから放たれる波火が望めます。

### 大敷網

砲台跡  
小浜町の跡に、砲台跡が残り、現在は公園として整備されています。

### 初釣

石浜川への釣り  
釣りの季節は、初夏から秋にかけてです。釣り場は、石浜川沿いにあります。

小浜地区の歴史  
小浜地区は、古くから漁業で栄え、現在は観光地としても知られています。歴史を学ぶには、小浜地区の歴史館がおすすめです。



小浜地区の歴史館

◎新門  
1775年、新門は、小浜の玄関口として、重要な役割を果たしました。現在は、新門跡として残っています。



定置網  
個人所有の定置網は、漁獲量が多いため、漁民の間では、定置網は重要な漁具です。

湖に釣る  
湖に釣ることは、自然を満喫するだけでなく、釣りの楽しさも味わえます。



湖に釣る楽しさ

船釣り  
毎年3月22日は、船釣りの日です。船釣りは、釣りの楽しさを倍増させます。

磯釣り  
磯釣りは、釣りの楽しさを倍増させます。磯釣りは、釣りの楽しさを倍増させます。

湯山  
湯山は、温泉を楽しむことができます。湯山は、温泉を楽しむことができます。

阿波  
阿波は、歴史を学ぶことができます。阿波は、歴史を学ぶことができます。

大津  
大津は、自然を楽しむことができます。大津は、自然を楽しむことができます。

志保  
志保は、自然を楽しむことができます。志保は、自然を楽しむことができます。

新所  
新所は、自然を楽しむことができます。新所は、自然を楽しむことができます。

小浜市のほかに、位置する内外海地帯は、狩猟の地帯による、ついでに入居した。集落が点在する。巖山漁村です。



国女の自然の家



お祭り



新所



志保

須浦  
須浦は、自然を楽しむことができます。須浦は、自然を楽しむことができます。

谷及  
谷及は、自然を楽しむことができます。谷及は、自然を楽しむことができます。

釣姫  
釣姫は、自然を楽しむことができます。釣姫は、自然を楽しむことができます。

日高  
日高は、自然を楽しむことができます。日高は、自然を楽しむことができます。

志保  
志保は、自然を楽しむことができます。志保は、自然を楽しむことができます。

コナリ池と雲見  
海沿いの釣り、岩の穴、川の流れ、自然の恵み。コナリ池と雲見は、自然を楽しむことができます。



コナリ池と雲見